主幹 薬学博士 朝比奈泰彦

植物研究雑誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

第32巻 第2号 (通巻第349号) 昭和32年2月発行
Vol. 32 No. 2 February 1957

本誌の創始者 牧野富太郎先生逝く

昭和三十二年一月十八日本誌の創始者牧野富太郎先生は九十五歳の高齢を以て逝去せられた。

先生は明治の初期本邦に於ける近代植物分類学の黎明期以来連綿として最近に至る迄斯学の為に活動を継続されたことは驚異とも云うべき事実で，後進者の尊敬を一身に蒐められたことは云う迄もない。今次の訃報は実に本邦学界の一大損失である。

先生が明治二十年斯学の同志と共に創設された植物学雑誌の内容は漸次生理・形態・生態の方面にも発展し，分類学の為に十分の紙面を分けることが困難となると，敢然として植物研究雑誌の自費刊行を実行に移され (大正五年)，爾来数年間行歩艱難，時に殆ど中絶の悲運に直面しながら，先には池永孟氏，中頃には中村春二氏の援助により刊行を継続し，最後に先代並に当代の津村重舎氏の絶大なる支援によつて刊行の基礎を確立された。本誌は其後発展の一途を辿り，昭和八年先生畢生の大事業たる植物図鑑完成の為に本誌の主筆を引退される迄前後十六年間，常に本誌上で新研究を発表され，又植物学に対する大衆の理解と興味とを推進する為に常に椽大の筆を揮われたのである。

吾人先生の衣鉢を継承するものは誓つて先生の遺業を汚さざらんことを先生の霊前に告げる。

朝比奈泰彦

牧野富太郎先生の写真及び署名の説明

東京都名誉都民の称号を受けたのを記念して，練馬区，東大泉町，[redacted]番地の自宅，広縁で，昭和 29 年 12 月 17 日に撮影。(東京都提供)

署 名：「**結網学人**」昭和 29 年の年賀状から。93 才と傍記す。但し数え年。
「**牧野富太郎**」昭和 31 年の年賀状から。95 才と傍記す。但し数え年。
「**T. Makino**」明治 27 年に採集した標本のラベルに記したもの。